

令和4年度 産官学連携事業実績一覧

No	部署名	相手団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	対象者	実施年月日	連携による効果
1	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する情報提供(職員向け)	健康維持や健康増進に関する情報について分かりやすくまとめたリーフレットを提供いただき、職員向け電子掲示板で情報共有した。	市職員	随時	職員の健康に対する意識の向上につながった。
2	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する情報提供(市民向け)	健康維持や健康増進に関する情報について分かりやすくまとめたリーフレットを提供いただき、市公式SNSや市役所(本庁舎)1階総合案内付近に設置しているデジタルサイネージに掲載し、市民に共有した。	市民	随時	市民の健康に対する意識の向上につながった。
3	政策企画課	大塚製薬株式会社	サイクルイベント「いばチャリン那珂」参加者向けの協賛品の提供	株式会社茨城放送と市が共同で開催したサイクルイベント「いばチャリン那珂」に、次の協賛品を提供いただいた。 ・ポカリスエット 120本 ・ソイジョイ 120個	サイクルイベント「いばチャリン那珂」参加者及び関係者(約120人)	令和4年9月4日	・イベントのお土産が豪華になり、参加者に大変喜ばれた。 ・提供商品のチラシと、健康情報や市との連携協定締結について掲載したチラシを同封して渡すことで、連携先にとっても参加者にとってもメリットのある取組となった。
4	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	サイクルイベント「いばチャリン那珂」参加者向けの血管年齢測定イベントの実施	株式会社茨城放送と市が共同で開催したサイクルイベント「いばチャリン那珂」にて、イベントの本部横に、「血管年齢測定イベント」のブースを出展いただいた。	サイクルイベント「いばチャリン那珂」参加者及び関係者(約120人)	令和4年9月4日	・健康に関する内容であったので、サイクリストの関心も高く、多くの人がブースを訪れていた。 ・イベントに賑やかさがあつた。 ・イベント参加者に、受付からイベント開始までの待ち時間等を飽きさせずに過ごしてもらうことができた。
5	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	地域まもり活動パトロール表示の営業車への掲示	「地域まもりパトロール中」の表示とナカマロちゃんを印刷したマグネットシートを作成し、営業車に掲示していただいた。	明治安田生命那珂営業所従業員	令和4年4月～	パトロールの目があることを広く知らせることで、市内の安心安全を守ることにつながっている。
6	政策企画課	茨城キリスト教大学	看護学部地域特定推薦	看護学部に深い関心を持ち、成績優秀で地域の保健、医療及び福祉の向上に貢献する志のある者のために設けられた茨城キリスト教大学看護学部の特別入試枠において、市からの志望者の推薦を行った。(令和4年度那珂市推薦枠:3人)	市民のうち志望する者(令和4年度那珂市推薦枠:3人)	令和4年10月～11月	市内在住の優秀な学生を推薦することで、将来の地域の保健、医療及び福祉の向上に期待できる。
7	政策企画課	常盤大学	那珂市総合計画策定委員会委員	第2次那珂市総合計画後期基本計画を令和4年度中に策定するに当たり「那珂市総合計画策定委員会」を設置した。若者から柔軟な意見を計画策定の参考とするため、委員を委嘱し、後期基本計画原案の検討を行った。	那珂市総合計画策定委員会(住民代表委員22人中4人)	令和4年6月21日、8月9日及び11月9日	若者(大学生)による柔軟な意見をいただけたことで、会議の議論が幅広いものとなった。その内容を、後期基本計画に反映させることができた。
8	政策企画課	常盤大学、茨城大学、茨城キリスト教大学、茨城女子短期大学	第2次那珂市総合計画後期基本計画に係る市民ワークショップの参加	第2次那珂市総合計画後期基本計画を令和4年度中に策定するに当たり、市民の意識がどのように変遷し、今後のまちづくりに行政が担うべき役割を改めて問い直す必要があるため、今後のまちづくりを市民とともに考え、市政に活かしていくことを目的にワークショップを開催した。全4回のうち1回を「大学生ワークショップ」として開催した。	市と包括連携協定を締結している大学に在籍する大学生(12人)	令和4年7月30日	「那珂市を「関わっていきいたいまち」にするために必要なことを考える」をテーマとしてワークショップを開催した結果、大学生ならではの柔軟な意見が出され、後期基本計画原案を作成するに当たり参考となった。
9	政策企画課	常盤大学、茨城大学、茨城キリスト教大学、茨城女子短期大学	那珂市総合開発審議会委員	第2次那珂市総合計画後期基本計画を令和4年度中に策定するに当たり「那珂市総合開発審議会」を設置した。幅広い見識及び専門的知見から意見をいただくため、委員を委嘱し、後期基本計画について市長の諮問に応じ、調査及び審議を行った。	那珂市総合開発審議会(委員20人中4人)	令和4年7月11日、8月24日及び11月29日	大学の教授等による幅広い見識及び専門的知見から意見をいただけたことで、会議の議論に深みを持ち、内容の濃い会議となった。その内容を、後期基本計画に反映させることができた。
10	総務課	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	SDGsセミナー	職員のSDGs理解促進のための研修実施のため、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が提供する地方創生支援メニューを活用し、SDGsコンサルタントの講師(株式会社 ふるサボ 代表取締役 中島 達朗氏)を派遣いただいた。講義「SDGsの意義と先進事例」の今後の取組へのヒント」及びカードゲーム「SDGs de 地方創生」が実施された。	入庁3年次職員及び各課参加を希望する者1名(37人)	令和5年2月28日(火)13:30～16:30	・世界のSDGsの先進事例から、SDGsの取組の重要性を理解した。 ・カードゲームを通して、地域全体で活性化するためにはどうすればよいか、職員間で知恵を絞ることで、地方創生における対話と協働の重要性を学ぶことができた。
11	総務課	株式会社水戸京成百貨店	接客サービス向上研修	職員の住民サービスの質の向上のため、営業アドバイザーの相澤 正氏を派遣いただき、研修を実施した。「市民の方に好印象な対応ができていますか?—CS向上のための接客サービス研修」と題して講義いただいた。	全職員(23人)	令和4年12月14日	日常の業務では学べない民間企業のノウハウに触れることができる機会となった。
12	総務課	常盤大学	常盤大学自治体連携講座「自治体経営論」	市が大手企業と連携協定を結んでいる自治体から、入庁の授業(全15回)のうち1回90分の授業で自治体の施策や自治体行政を取り巻く現状等について講義を行うもの。那珂市においては、令和4年5月31日の本科目において政策企画課の職員を講師として派遣し、那珂市の地方創生、総合戦略について講義を聴講した。	常盤大学学生(1・3年次生)(約120人)	令和4年5月31日	常盤大学の学生のうち、地方行政を専攻する吉田教授、砂金教授のゼミ生が多く参加している本科目での講師派遣を行うことは、那珂市をPRし、行政について紹介できる良い機会となった。また、地方公務員を目指す学生の就職先の選定に参考となる情報を提供できた。
13	総務課	常盤大学	常盤大学自治力向上プロジェクト	自治に関する知識習得・交流の場として本プロジェクトを実施した。那珂市の主要な施策、シティプロモーション、議会と行政の連携について職員、市議会議員による講義を実施したほか、常盤大学卒業生の職員を招集し、現役の学生と意見交換会を開催した。	常盤大学教授 吉田 勉氏 常盤大学吉田ゼミ生(17人)	令和4年6月17日	吉田ゼミ所属の学生に対し那珂市の取り組みをPRできたほか、地方公務員を目指す学生の業界研究の参考として一助を担うことができた。参加した学生のうち数名が令和4年度のインターンシップ事業に参加したほか、職員採用試験の情報等についても案内することができた。
14	総務課	茨城大学	茨城大学リカレント教育プログラム	茨城大学リカレント教育プログラムを職員研修として提供し、職員が業務時間中に研修として大学の授業を受講できる取り組みとして実施している。年2回(前期・後期)募集し、希望のあった職員を派遣している。	那珂市職員(3人)	令和4年4月1日～令和5年3月31日	茨城大学の持つ学術的な知識・財産を、働きながら再学習ができる場として活用するとともに、学生・他企業参加者と交流することで、行政運営に携わる職員の能力向上を目的とした研修実施の取り組みを図ることができた。
15	総務課行財政改革推進室	筑波銀行	那珂市行財政改革懇談会	筑波銀行那珂支店長の荒川誠氏に行財政改革懇談会委員として、3回の会議に出席いただき、那珂市行財政改革大綱の進捗状況や行政活動外部評価を実施していただいた。	学識経験者、住民の代表者等(12人)	令和4年8月2日、10月5日、10月17日	金融機関の視点からご意見をいただいた。
16	健康推進課	明治安田生命保険相互会社	寄付金の受入れ	従業員による募金活動で集めた514,500円を寄付いただいた。	市民	令和4年10月	女性ががん検診の受診奨励に係る事業に充当し、受診奨励のために活用していく。
17	健康推進課	大塚製薬株式会社	「女性の健康週間」啓発活動における情報提供・チラシの提供	女性ホルモンの影響等、女性の健康に関する情報をまとめたチラシを提供いただき、市民への配布や庁舎内への掲示を行うことで、「女性の健康週間」の啓発活動を行った。	市民・市職員	令和5年3月	「女性の健康週間」の啓発及び女性の健康についての情報提供につながった。
18	社会福祉課	株式会社水戸京成百貨店	障がい者就労支援事業所 京成百貨店物品販売会	水戸京成百貨店による販売会場の提供およびSNS等を利用したPR。就労支援事業所が製造する物品等(食品、工芸品)の販売。	水戸京成百貨店来訪客	令和4年11月16日	就労支援事業所が製造する物品等(食品、工芸品等)の販売及びPR活動を通して、障がいのあるかたの社会参加の機会を確保するとともに、工賃向上と経済的自立促進の一助とする。
19	生涯学習課	大塚製薬株式会社	家庭教育学級開設事業	家庭における子どもの教育の在り方について、正しい理解をもつために、各保幼小中家庭学級を開設し、学習の機会とする。 「女性の健康と女性ホルモン・エストロゲンとの関係」という学習課題で講習会を実施した。	ひまわり幼稚園保護者(14人) 管谷小学校保護者(13人) 菅谷東小学校保護者(12人) 第四中学校保護者(20人) 計59人	令和4年11月14日(月)10時00分～11時30分	・女性自身が自らの体のことをきちんと理解していないことが多く、女性ホルモン現象の影響を理解することで、自分の体のことを知り、健康維持・健康管理ができることを学ぶことができた。 ・自分自身の体に耳を傾け、規則正しい生活、バランスのとれた食事、適時の運動が大切なことが理解できた。
20	生涯学習課	茨城女子短期大学	「家庭の日」図画・作文の審査	(作品の審査) 図画の部:(小学生)各学年から金・銀・銅賞各1点(中学生)全学年から金・銀・銅賞各1点 作文の部:(小学生)各学年から金・銀・銅賞各1点(中学生)全学年から金・銀・銅賞各1点 合計42点 参考:応募総数・図画の部:小中学生493点・作文の部:小中学生790点	応募総数:1,283点 表彰式典参加者:149人	令和4年9月中旬～10月中旬に作品の審査 令和4年12月10日(土)発表会及び表彰式典を実施(主催団体:青少年育成那珂市民会議)	市内小中学校から図画・作文を募集し、多数の応募をいただいた。作品を通して、より良い家庭づくりと人間づくり運動の推進と普及を図ることができた。
21	生涯学習課スポーツ推進室	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック	水戸ホーリーホックホームゲーム「那珂市の日」	水戸ホーリーホックホームゲームにて、「那珂市の日」として市のPR活動を行った。具体的には、市特産品プレゼント抽選会、市PRブースの設置(市観光協会グッズ販売、シティプロモーション推進室によるガラポン抽選会等)、市内飲食店による出店、市内在住者特別優待を行った。また、キックオフ開始前にはナカマロちゃん同席の上、市長からご挨拶いただいた。	水戸ホーリーホックホームゲーム来場者(2,111人)	令和4年8月23日※令和4年7月23日から延期となった日程	・那珂市が水戸ホーリーホックのホームタウンであることを改めて周知し、サポーターから身近に感じてもらうことができた。 ・市PR大使となっている選手がPRブースにてパンフレットの配布を行い、ブースへの集客向上に繋がった。
22	生涯学習課図書館	茨城キリスト教大学 茨城女子短期大学	図書館ボランティアスキルアップ研修会	図書館に所属する読み聞かせのボランティアのスキルアップ向上を目的とした研修会を実施した。	図書館ボランティア(14人)	令和5年2月19日(日)	専門的な知識を学ぶことにより、読み聞かせについての知識、技術の向上が図られた。
23	生涯学習課図書館	茨城女子短期大学	「こども図書館まつり」におけるワークショップの実施	令和4年4月23日から5月12日のこどもの読書週間に合わせて実施した「こども図書館まつり」において、「じゃばらなしおりで那珂あんない」と題したこども向けワークショップを開催した。	「じゃばらなしおりで那珂あんない」ワークショップ参加者(26人)	令和4年4月24日(日)	・専門家ならではの、職員では発想が難しい内容を提案いただき、読書活動推進に資する効果的なイベントを実施できた。 ・学生にも協力いただいたことにより、こどもたちとより近い目線でイベントを進めることができ、より図書館を身近に感じてもらえるきっかけとなった。
24	生涯学習課図書館	茨城女子短期大学	「図書館まつり」におけるワークショップの実施	令和4年10月27日から11月9日の読書週間に合わせて実施した「図書館まつり」において、「オリジナルしおりをつくろう!」と題したこども向けワークショップを開催した。	「オリジナルしおりをつくろう!」ワークショップ参加者(24人)	令和4年10月30日(日)	・専門家ならではの、職員では発想が難しい内容を提案いただき、読書活動推進に資する効果的なイベントを実施できた。 ・学生にも協力いただいたことにより、こどもたちとより近い目線でイベントを進めることができ、より図書館を身近に感じてもらえるきっかけとなった。
25	こども課	茨城キリスト教大学	子ども・子育て会議	子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき設置しており、特定教育・保育施設や特定地域保育事業の利用定員の設定に関することや那珂市子ども・子育て支援事業計画に関することなどについて調査審議する。	(1)学識経験を有する者(2)子ども関係団体に属する者(3)教育関係者(4)保育関係者(5)子どもの保護者(6)その他市長が必要と認める者(15人)	令和4年7月7日 令和4年9月22日 令和5年2月10日	保育施設の定員の変更、新規保育施設の認可に関して、保育の専門的な視点で意見・評価をいただき、活発な会議を開催することができた。
26	こども課	常盤短期大学、茨城女子短期大学、茨城キリスト教大学	保育施設を見に行こうツアー	保育施設を巡り、保育士を目指す学生に本市の保育施設を知ってもらうとともに、各施設の特色や子どもたちの雰囲気、職場環境など、保育職の魅力を感じ就職につなげる。	保育士を目指す学生(12人)	令和4年8月9日、17日、24日、30日、9月6日	・複数の施設を回ることで、施設の特徴など比較することができた。 ・施設においても、人材が不足しており保育士を目指す学生に対し、PRすることができた。
27	こども課 地域支援センターつぼみ	茨城女子短期大学	「子育てフェスタ 2022」	地域子育て支援センターのイベント「子育てフェスタ 2022」の中で、手作りお面屋のブースを出展していただいた。つぼみが出店したゲーム屋のブースにも入っていただきイベントを盛り上げていただいた。	「子育てフェスタ 2022」来場者(192人)	令和4年11月12日	・子どもが好きなキャラクターのお面であったため、子どもたちに喜んでもらうことができた。 ・ゲームのブースにも入ってもらえたので、短い待ち時間で行うことができた。
28	全庁	茨城大学、常盤大学、茨城キリスト教大学、学校法人大成学園、筑波銀行、株式会社JT	各種委員等への教員・社員派遣	市の組織する各種委員会等の諮問機関に、教員や社員を派遣いただいた。		随時	専門的な知見から様々な意見をいただき、よりよい市政運営につながった。